

みずほCustomer Desk Report 2024/06/28号(As of 2024/06/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	160.77
TKY 9:00AM	160.60	1.0680	171.51	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	160.82	1.0726	172.15	1.2621	0.6644
SYD-NY Low	160.30	1.0677	171.39	1.2670	0.6672
NY 5:00 PM	160.77	1.0704	172.09	1.2613	0.6640
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,164.06	36.26	日本2年債	0.3400%	0.0300%
NASDAQ	17,858.68	53.53	日本10年債	1.0700%	0.0500%
S&P	5,482.87	4.97	米国2年債	4.7110%	▲0.0415%
日経平均	39,341.54	▲ 325.53	米国5年債	4.2982%	▲0.0473%
TOPIX	2,793.70	▲ 9.25	米国10年債	4.2855%	▲0.0430%
シカゴ日経先物	39,620.00	150.00	独10年債	2.4510%	0.0010%
ロンドンFT	8,179.68	▲ 45.65	英10年債	4.1280%	▲0.0055%
DAX	18,210.55	55.31	豪10年債	4.4110%	0.0850%
ハンセン指数	17,716.47	▲ 373.46	USDJPY 1M Vol	8.90%	▲0.23%
上海総合	2,945.85	▲ 26.67	USDJPY 3M Vol	9.58%	▲0.05%
NY金	2,336.60	23.40	USDJPY 6M Vol	9.84%	▲0.02%
WTI	81.74	0.84	USDJPY 1M 25RR	▲0.45%	Yen Call Over
CRB指数	291.30	0.00	EURJPY 3M Vol	9.40%	▲0.14%
ドルインデックス	105.91	▲ 0.15	EURJPY 6M Vol	9.58%	▲0.11%

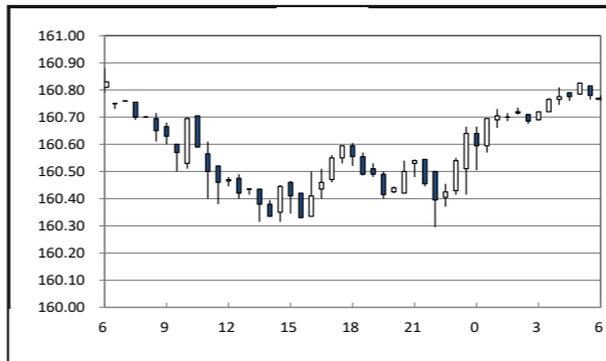
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
6月27日	18:00	欧 消費者信頼感・速報	6月	-14.0	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q T	1.4%	1.4%
	21:30	米 個人消費	1Q T	1.5%	2.0%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月	0.6%	0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	22-Jun	233k	235k
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月	0.1%	-0.5%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	5月	-0.1%	0.2%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月	-2.1%	0.5%

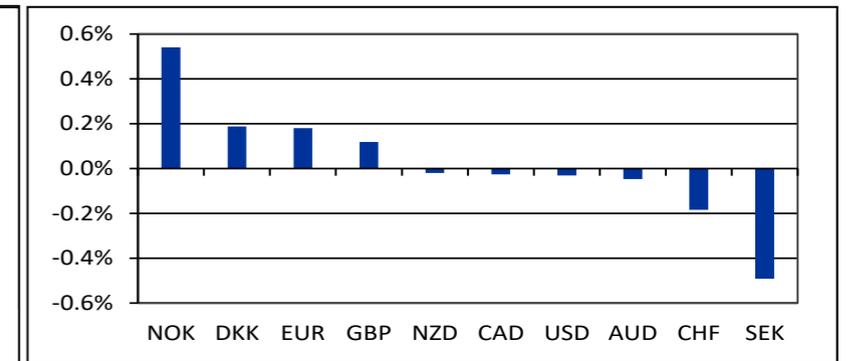
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
6月28日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	6月	2.3%/2.0%/1.7%	2.2%/1.9%/1.7%
	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q F	0.6%/0.2%	0.6%/0.2%
	15:00	英 個人消費(前期比)・速報	1Q F	0.2%	0.2%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	6月	0.1%/2.2%	0.0%/2.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月	0.1%/2.6%	0.2%/2.8%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月	66.0	65.6
6月30日	10:30	中 製造業/非製造業PMI	6月	49.5/51.1	49.5/51.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	160.00-161.5	1.0650-1.0750	171.00-173.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はほぼ横ばいの値動きとなった。東京時間は特段の材料ないなか実需の売りにおされて円高推移。NY時間では、各種経済指標の発表やアトランタ連銀総裁による発言があったものの特段反応なく、引けにかけてじりじりとドル高円安となった。

本日のドル円は引き続き高値圏を試す展開を予想。月末実需勢のフローも相応に見込まれるなか、東京時間の午前10時に米大統領テレビ討論会を控えており、ヘッドラインには要留意。本日の米国時間に発表される米5月PCEを控えて東京時間は基本的には様子見の展開が続くものと思われるが、昨日は米金利が低下するなかドル円は上昇しており金利との相関は一層薄れている状況。現水準での介入警戒感はほとんどなく、米経済指標発表が特段弱い結果とならない限り、引き続き上値を試す展開となるのではないかと。

東京	東京時間のドル円は160.60レベルでオープン。仲値にかけて上昇した流れから、仲値通過後に一時160.70までつける。38年ぶりの円安水準受け、本邦当局者から相次いだ牽制発言への反応は限定的となるも、実需の売りも入ってかじりじりと水準を押し下げ、一時160.32まで下落。その後は方向感の出ない中で、160円台半ばでは上値重く推移し、160.33レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、160.33レベルでオープン。アジア時間に買い戻された円だったが、ロンドン時間には再び売られ160.55レベルでNYに渡った。なお、本日スウェーデン中銀とトルコ中銀はそれぞれ予想通り政策金利を据え置き。
ニューヨーク	海外市場のドル円は160円台後半でスタート。アジア株の軟調な展開や、為替介入への警戒感から、円買いが先行し、160.32まで下落。円買い一巡後は徐々に値を戻し160.55レベルでNYオープン。朝方には複数の米経済指標が発表され、米第1四半期GDP(速報値)構成項目の個人消費が下方修正された事や、米失業保険継続受給者数が予想を上回った事を受け、米経済減速の思惑からドル売りが優勢となり、160.30まで売られる。その後は米金利が下げ止まる中でドルが買い戻され、160.70近辺まで反発。午後ドル高の展開が続き、160.82まで上昇し、その後160.77レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは1.06台後半でスタート。特段注目材料が見当たらない中、小幅上昇し、1.0693レベルでNYオープン。朝方は先述の冴えない米経済指標の結果を受け、ドルが売られる中、1.0726まで上昇。しかし、その後は1.0710付近まで反落。午後は1.07台ちょうど付近でほぼ横ばいで推移し、1.0704レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。